

前沢明峰支援学校

研究テーマ

「生涯にわたって学び、成長しようとする力を高める授業実践・指導実践」

1 全体研究

(1) 研究テーマ設定の理由

- ①学校教育法、学習指導要領、学校教育目標から
- ②これまでの研究から
- ③校内研究にかかわる職員アンケートから

(2) 研究の内容と方法

- ①研究の基本構想と共通理解
第1回全体研：5月 第2回全体研：2月
- ②全体研究テーマに基づく、各学部、寄宿舎の研究計画の作成と推進
ア 各学部研究、寄宿舎研究の内容、計画立案
イ 学部研究会(毎月)、寄宿舎研究会(年8回)
- ③授業実践とPDCAによる授業改善の取組
ア 授業研究会の開催：年3回(各学部提案)
(ア) 各学部の研究に基づく提案授業
(イ) 研究内容や推進状況について協議
イ 授業研究会まとめ資料の作成
ウ 授業研究会におけるアンケート実施
- ④研究のまとめ
ア 各学部、寄宿舎の研究発表及び協議
イ 本校のホームページで公開

2 各学部の研究の主な内容と方法

(1) 小学部

- ①学部研究の基本構想と共通理解
 - ②課題分析と実態把握の方法についての検討
 - ③授業づくりシートの改善、活用
ア 実践後の評価の実施、授業改善の手がかりとして活用するための仕組みづくり
イ 授業のねらいと将来身に付けたい力との関連性
 - ④適切な課題分析と実態把握を意識した授業づくり
 - ⑤PDCAサイクルによる授業改善の取組
 - ⑥研究のまとめ
- #### (2) 中学部
- ①学部研究の基本構想と共通理解

- ②教科学習(国語)の目標や内容の確認と共通理解

- ③学習指導要領の教科(国語)の目標や内容の網羅を目指した仕組みづくり

- ④教科版授業づくりシートの作成とシートを活用した授業実践、PDCAサイクルによる授業改善の取組

- ア 育成を目指す資質・能力の三つの柱に迫る授業づくり

- イ 「主体的・対話的で深い学び」を意識した授業づくり

- ⑤研究のまとめ

(3) 高等部

- ①学部研究の基本構想と共通理解

- ②「できる状況づくり」「個に焦点をあてた授業づくり」の検討と共通理解

- ア 「できる状況づくり」の共通理解と取り組み状況の検討

- イ 各作業班の目標と評価を三観点で確認

- ③授業づくりシートを活用した授業実践とPDCAサイクルによる授業改善の取組

- ア 2回の授業参観週間の取組

- イ 高等部提案の授業研究会の取組

- ④授業づくりシート等のさらなる活用と改善

- ⑤研究のまとめ

(4) 寄宿舎

- ①寄宿舎研究の基本構想と共通理解

- ②生活指導計画組み立てシート及び実践記録シートを活用した、個別の生活指導計画の作成と共有

- ③PDCAサイクルによる手立ての考案と実践

- ④研究のまとめ

3 講演会

演題：「生涯にわたって学び、成長しようとする力を高める授業実践・指導実践 困った行動には理由(わけ)がある ～応用行動分析学にみる子どもの行動～」

講師：新潟大学教育学部 教授 有川 宏幸 氏

期日：令和5年8月2日(水) 10:00～12:15

参加者：65名